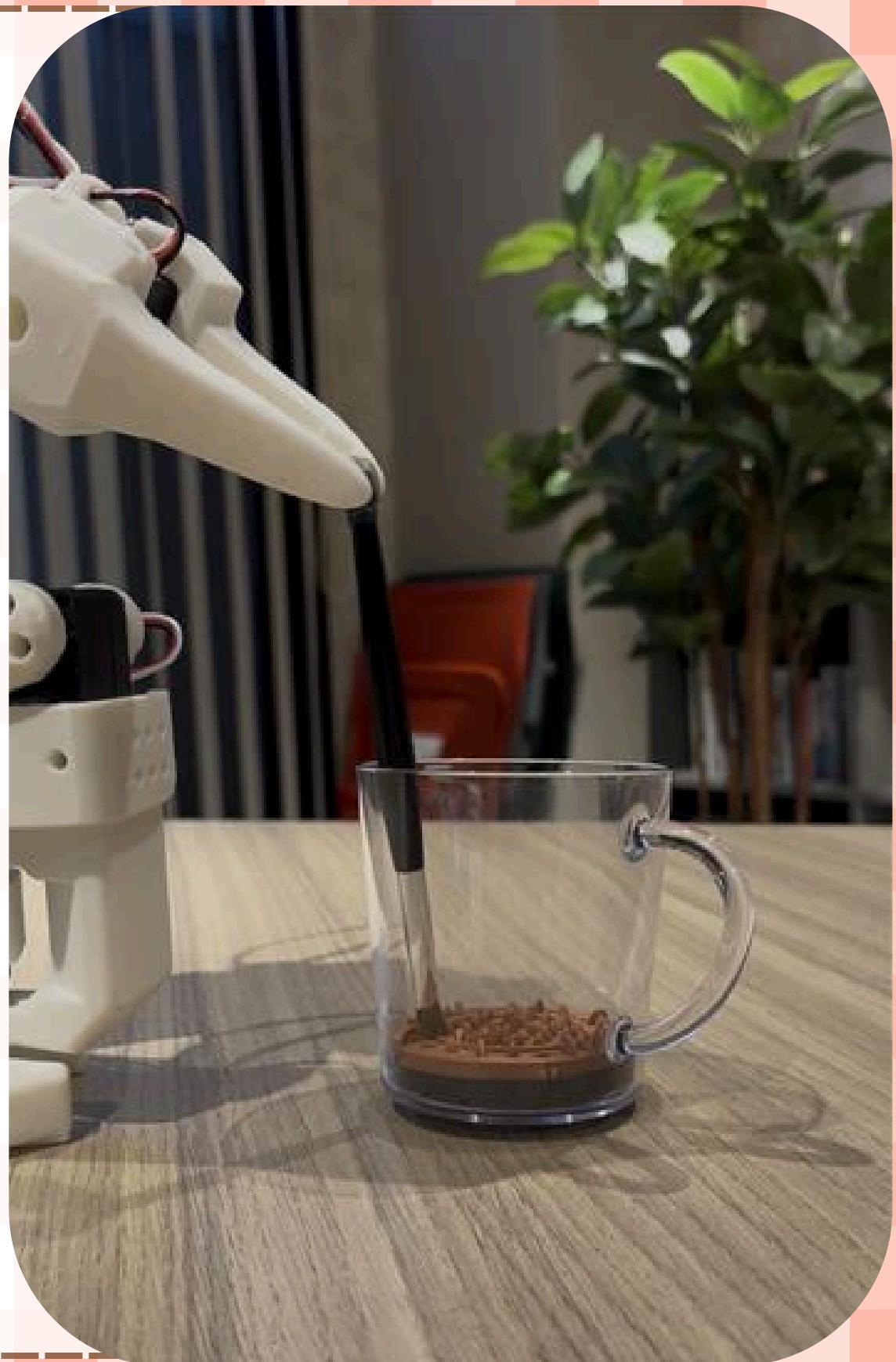


半自動メイクブラシ 洗浄ロボット

24010009 リオックマ



プラン-1

1. 課題認識

- ・メイクブラシ洗浄は手間 → 自動化で効率化

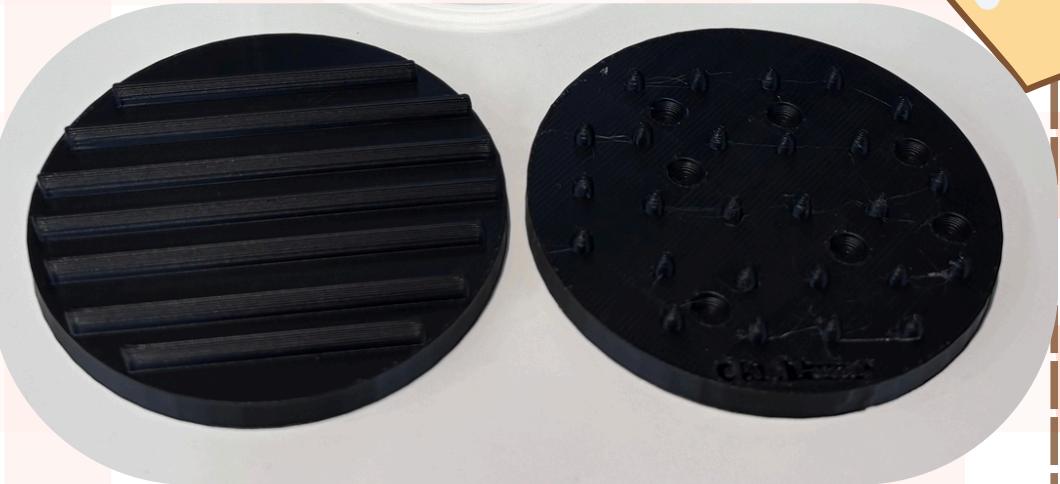
2. 初期アイデア

- ・コップ上でブラシをふるだけ
→洗浄力が弱い(自分の手で)

プラン-2

3. 試作

- 3Dプリントの凹凸プレートを追加
- 毛束の開き・洗浄効果向上(自分の手で)
- 板が回る問題を発見

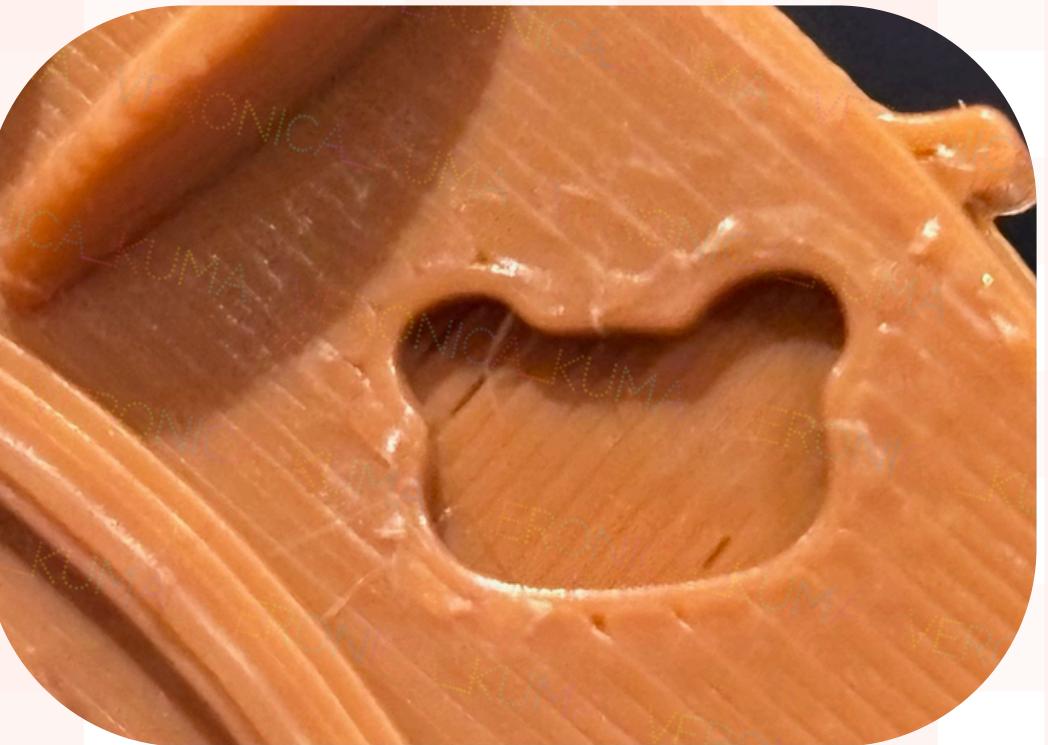


4. 改良策

- 外周ツメで回転防止
- 上下往復で洗浄しやすい形状にした
- 凸の種類を増やし筆の内部まで洗浄できるようにした



チャームポイント



CADで一から作ったクマを
あしらう

ツメを作って
回転しづらくした



市場調査

★ 市場規模

「メイクブラシクリーナー」市場は世界で数百億円規模 の大きさ
毎年 約7%ペースで成長中→ 時短・衛生意識の高まりで需要拡大

引用：<https://dataintelo.com/report/makeup-brush-cleaner-market>

このロボットの差別化ポイント

物理的にブラシをこする「本当の洗浄」方式

3Dプリントで作った凹凸プレートによる高い洗浄力 自動上下運動で安定した洗浄

市場にほぼないロボット洗浄という新カテゴリ

→ 差別化余地が大きい！

デモ

改良によりブラシの毛が
ほぐれやすく



板も回転しなくなった！

24010009 リオックマ